

吾等從業員の生活の基盤は當局にある以上當局の増収を計る事に付ては厳格なる規定以外にあらゆる場合に於て業務能率の増進に奮闘してゐるものである、然るにも不拘當局はスパイ政策を以て從業員を監視するが如きは嚴刑主義を以て最もこそ卑劣なる手段にして、決して能率の増進收入增加を計る事は出来ない、その從業員を信じてこそ目的は達成せられるのである。吾々はかかる從業員の人格を無視し何等益のない密行制取締に絶対反対し撤廃を要求すると共に是等に要する費用を以て營業線の第一線に起つ者を増員すべきである。

### 具體案

中央委員會一任

## 8 容疑檢束者規定に依る減首反対の件

提案說明 今里支部

### 理由

如何なる偉人も相手の主觀により容疑を懸けられる事は到底避け難い。又如何なる賢人も誰に懸疑するかは否否定出来ない事實である。にも拘電氣當局は國家權力の發動による容疑檢束者でも三十日を過ぎれば容赦なく採用規程第十九條第一項第四號（病氣以外の事由により連續三十日以上二ヶ月間亘り四十日以上缺勤したる時）により減首するのだ。法統國の吾々國民として檢索は避否することは出来ない。取調の結果晴大白日の身となれば與る其勞苦を慰め同情しなくてはならない立場にある雇用者當局が、之を減首し街頭に抛げ出するとに慘酷も極みである。吾々はかかる非人道的解雇に反対し惡規程の撤廃を叫び既に解雇されし人達の復職を要求するものである。

### 具體案

中央委員會一任

## 9 炊事直營の件

提案說明 春日出支部

### 理由

擣取に擣取されてゐる無産階級は階級的に資本家と闘争すると同時に自主的消費組合の設立も又必要に迫られてゐる。從來各事務所の炊事は營利的業者の經營にして一般從業員は電氣局に擣られ又日常常缺くべからざる食費で又經營者にも擣られてゐる。依而此二重擣取を避けんがため炊事經營を各支部でなく全員の努力により何分なり共経費の節約を圖り階級的自治精神涵養にせんがため炊事直營を提案し諸賢の賛成を求める。

### 具體案

方法は本部一任とし協議の統制の下に各支部適宜實行

## 10 運動方針決定の件

提案說明 本部

### 具體案

現社會を展望するに全世界資本主義諸列國は資本主義制度の不合理と矛盾より来る必然的現象として經濟恐慌の風に製はれ益々深刻化する不景氣と共に今や没落の運命を辿りつゝある。資本主義的産業合理化の強要は工場閉鎖、土地取上げ、大量減員、賃銀低下となり一切の犠牲を労働者農民、無産市民に負はしめ幾百萬に餘る失業者は街頭に農村に洪水の如く然も餓死線上を彷徨してゐる。

吾電氣當局に於ても此危期に際し資本家への忠誠なる番頭としての役割を果さんがためには最早公共事業の假面を脱ぎ捨てざるを得ず六大城市長會議、電氣局長會議、課長會議、浪速電氣協會と全ゆる電鐵トラストにより從業員擣取彈壓の陰